# 博物館建築と正面入口附近の構造について

On the Museum Architectures, and Structures of the Rooms adjacent to the Entrance.

新 井 重 三・佐々木 朝 登・藤 森 宣 光\*\*\*
Juzo Arai , Asato Sasaki , Nobumitsu Fujimori

#### I はじめに

博物館の建物は, それ自体が建築構造物である以上, 建築専門家の手を借りることは当然のことであるが、 従来の傾向をみる限りでは建築学者の作品として構築さ れる例が多かったように思われる。その後、博物館側か ら使い易さという立場から機能面が重視され、設計者に 対して種々の条件が付け加えられるようになった. しか し、ややもすると、博物館サイド、言いかえれば管理者 側からみた使い良さが強調され、利用者の立場に立った 使い良さというアプローチはどこまで進んでいるのだろ うか. 入館者や物を管理する上での使い良さと, 市民が 親しみ易く利用し易い条件づくりとは一致しない場合が 多い. 例えば正面入口附近の構造について検討してみよ う. 入館者が屋外で長時間待たされたり、寒風にさらさ れながら入館券を求めたり、荷物を一時預ける場所がな いために,大きな荷物を持ち歩いて見学したりという光 景はすべて解消しているのだろうか.

筆者らは利用者にとって親しみ易く使い易い博物館とは何かというテーマについて検討を加えてきた。それには博物館の物理的条件(physical condition)と人的条件(moral condition)とがあるが、その手初めとして、利用者に直接関係の深い建物構造、なかでも正面入口付近の構造を中心に博物館の実態を調査した。その目的は既に述べたとおりであるが作業仮説として、次のような課題をあげて解答を求めることにした。それは、①建築年代による構造差、②国公私立等設置者による構造差、③建物の規模による構造差、④大都市と地方による構造差、⑤寒冷地と温暖地による構造差 ⑥館の種類に

よる構造差等である.

調査は上述の作業仮説を配慮して全国的にアンケートによる実態調査を実施した。詳細については後述するが、この調査を実施するにあたり全国の博物館より抽出させていただいた 260 館に調査票を送り、そのうち 191 館より回答をいただいた。回収率は実に73.5%の高成績を得たことをよろこんでいる。これもひとえに各館の御協力の賜物であり衷心より感謝の意を表する。また、埼玉大学博物館学研究室の高井芳昭氏には調査作業に積極的な協力をいただいた。ここに厚く御礼を申し上げる。なお当該研究費は埼玉大学博物館学講座の予算によるものであることを付記する。

#### Ⅱ 調査の方法とその内容

昭和55年5月~6月の期間,アンケート方式(第1表. 問1~12)により埼玉大学博物館学研究室の調査研究活動の一環として実施した。

#### 1. 調査対象館

博物館法第4条に該当する登録博物館および同法第29 条に該当する博物館相当施設を対象として全国から260 館を抽出した. 抽出基準と館数(カッコ内の数字)は次 のとおりである.

#### (a)建築年代別

明治(6),大正(11),戦前(24),昭和20年代(45),昭和30年代(65),昭和40年代(87),昭和50年代(22)

(b)設置者別

国立(12),公立(231),私立(17)

## 原稿受理 1981 年 1 月 10 日

\* あらい じゅうぞう

埼玉大学教育学部博物館学研究室

\*\* ささき あさと

立教大学,学校•社会教育講座博物館学研究室

\*\*\* ふじもり のぶみつ

埼玉大学教育学部博物館学研究室

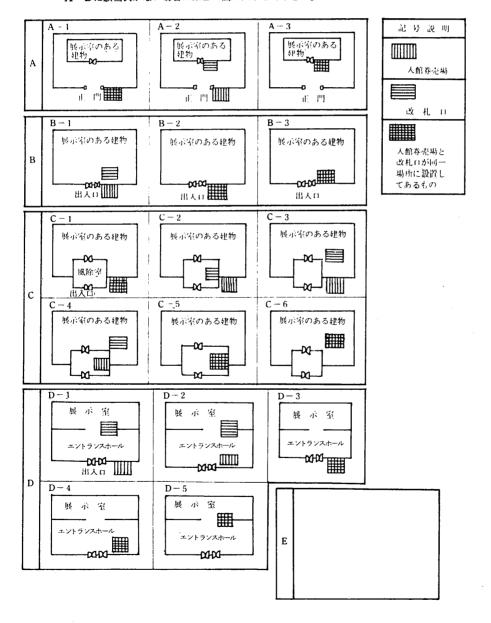
(c)館種別

### (d)地 域 別

総合(46),歷史(72),美術(89),科学(50), 動植物園水族館(3) 北海道(15),東北(25),関東(24),東京(33) 東海(29),北信越(33),近畿(43),中国(23), 四国(14),九州(19)

## 第1表 アンケートによる調査票 (問1~12)

[問1] 下図は館の建物と来館者の出入口との位置関係を特に入館券売場、改札口と展示室に重点をおいて図化したものです。あなたの館に該当する図をひとつえらび記号を○で囲んで下さい。 A~Dに該当例がない場合にはEの欄に図示して下さい。



#### [左図の説明文]博物館の建物構造と入館券売場、改札口の位置との関係による分類

| A     | 展示室を含む博物館建物の周囲に外壁を設けてある構造                   |
|-------|---|
| A – 1 | 外壁に沿って正門があり、そのそばに入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの     |
| A - 2 | 外壁に沿う正門の近くに入館券売場があり、改札口は展示室のある建物の入口に設けてあるもの |
| A – 3 | 展示室のある建物の入口に入館券売場および改札口が同一場所に設けてあるもの        |

| В   | 展示室のある建物の出入口に風除室が設けてない構造      |
|-----|-------------------------------|
| B-1 | 建物の外側に入館券売場があり、内側に改札口が設けてあるもの |
| B-2 | 建物の外側に入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの  |
| B-3 | 建物の内側に入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの  |

| С     | 展示室のある建物の出入口に風除室が設けてある構造               |
|-------|--|
| C-1   | 建物の外側に入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの           |
| C – 2 | 建物の外側に入館券売場があり、風除室内に改札口が設けてあるもの        |
| C - 3 | 建物の外側に入館券売場があり、風除室を通過したところに改札口が設けてあるもの |
| C-4   | 風除室内に人館券売場があり、風除室を通過したところに改札口が設けてあるもの  |
| C – 5 | 異除室内に入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの            |
| C-6   | 風除室を通過したところに入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの     |

| D   | 展示室のある建物にエントランスホールが設けてある構造             |
|-----|--|
| D-1 | エントランスホール人口に入館券売場があり、展示室入口に改札口が設けてあるもの |
| D-2 | エントランスホール内に人態券売場があり、展示室入口に改札口が設けてあるもの  |
| D-3 | エントランスホール入口に入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの     |
| D-4 | エントランスホール内に人館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの      |
| D-5 | 展示室人口に入館券売場と改札口が同一場所に設けてあるもの           |

| E | E.ic A | ~ D | 以外の博物館建物構造 |
|---|--------|-----|------------|

[問7] 個人の見学者から館の概要や展示品の事前説明を希望された場合には、どんな方法をとっていますか。該当する項目の記号(イ~チ)を○で順んで下さい。

|   |   | 1,00 K3,00KH0/H3(1-7)8O(H0C) 808         |
|---|---|--|
| Γ | 1 | 特殊な場合をのぞいて説明はしない。                        |
|   | п | 蛇の都合がつけば原則としてその都度館職員が説明する                |
| ▣ | ^ | あらかじめ決めてある定時説明時間まで持ってもらい館職員が説明する。        |
| 答 | = | 見学者が自主的にボタン操作をして、縁音テープ、スライド、VTR等で説明を受ける。 |
|   | * | 蛇職員がボタン操作をして録音テープ、スライド、VTR等で随時説明する。      |
| 楓 | ^ | 定時に、館職員がボタン操作をして録音テープ、スライド、VTR等で説明する。    |
|   | 1 | パンフレット等を渡し、読んでもらう。                       |
|   | 4 | その他(この機に記入して下さい。)                        |

【間8】 来館者のために出入口付近に案内施設(Information)や質問コーナー(Reference)を 設けていますか。該当する項目の記号(イ~へ)を○で囲んで下さい。(複数回答)

|     |    | 設けていますが。 設当する項目が記り(1~へ)をして出んて下される(複数回音) |
|-----|----|---|
|     | 1  | 案内コーナーを設けている。                           |
| o   | p  | 案内コーナーを設けていない。                          |
| 答   | ^  | 学芸員が勤務している質問コーナーを設けている。                 |
| M   | =  | 学芸員が勤務している質問コーナーは設けていない。                |
| 198 | *  | 案内、質問は入館券売場や改札口で受けている。                  |
|     | 「~ | 展示室や廊下から質問できるコーナーを設けている。                |

[間9] 来館者が入館料を払う前に待合せたり、休憩できる場所は用意してありますか。

| ( I        | 9)3 | 」 未開省が入路行を払り前に行行せたり、体密できる場 | 7211 |
|------------|-----|----------------------------|------|
| <b>*</b> □ | 1   | 用意してある。                    | ]    |
| 楓          | p   | 用意してない。                    | 1    |

[問10] 問9で用意してあると答えた前では、その場所(位置)について、下記回答機の該当する項目の記号(イ~ニ)を○で囲んで下さい。また、人数についても指定機に記入して下さい。

|     |   |                                     | 収容人員  |
|-----|---|-------------------------------------|-------|
| o   | 1 | 入館券を買う前に利用できる(由やどりできる)無料休憩所が別にある。   | ٠. ٨  |
| *   | п | エントランスホールは人館券がなくても自由に利用できる構造になっている。 | ٨     |
| 150 | ^ | 由天の場合には展外にテントをはって由宿りできるようにしている。     | ٨.    |
|     | = | その他(空間に記入して下さい。)                    | 1. 7. |

[間2] 来館者の出入口の付近の構造を今後改造するとしたら、どのタイプをえらびますか。 間1の時間の中からひとつえらんで、それに核当する記号を下記の空機に記入して下さい。 なお、それをえらんだ理由も簡単に記して下さい。

| 1220, T | れぞえらんだ理じ | 1の時中に応して 1317年 |  |
|---------|----------|----------------|--|
| 回答記号    | 記入欄      |                |  |
| (理由)    |          |                |  |

【問3】 入前券売場には席時何人動務していますか。下記の該当人数を○で囲んで下さい。 入前券売場動務人員数 1 人 2 人 3人以上

[間4] 人館券売場(室)と事務室との位置関係は下記のどれですか。該当する項目の記号(イ~へ) をつつ関系で下さい。

| Г   | 1 | 人館券売場の隣室が事務室である。        |
|-----|---|-------------------------|
| (2) | p | 入館券売場と事務室は同じ階にあるが離れている。 |
|     | ^ | 入館券売場と事務室は異なる階にある。      |
| 答   | = | 入館券売場は事務室の一角にある。        |
| 機   | # | 入館券売場と事務室は別の建物になっている。   |
|     | ^ | その他(この欄に記入して下さい)        |

【問5】 人館券売場と事務室との連絡方法について、該当する項目の記号(イ~ホ)を○で囲んで下

|     | 1 | 大きな声で事務室内の人を呼ぶ。      |
|-----|---|----------------------|
| (I) | p | 事務室に走って行って連絡をする。     |
| *   | ^ | 呼びりんを押して事務室から来てもらう。  |
| M   | Ξ | 電話をかけて情况説明をして指示をうける。 |
|     | # | その他(この間に記入して下さい。)    |

[問6] 団体の見学者から館の概要や展示品の事前説明を希望された場合にはどんな場所を使用して

| ٧,  | * * * / | か。 終 114 の知日の記号(1~ホ)を()で聞んですさい。          |
|-----|---------|--|
|     | 1       | 特に施設がないので館の入口付近か屋外で説明する。                 |
| [0] | p       | 特に施設がないので展示室内で適当に説明する。                   |
| 答   | 'n      | 講堂とか会議室に案内して、そこで説明する。                    |
| 機   | =       | 専用のオリエンテーションルーム(Orientation room)を持っている。 |
| 1   | #       | その他(この欄に記入して下さい。)                        |

[問11] 入館券売場の構造はどのタイプですか。該当する項目の記号(イ~ハ)を○で囲んで下さい。また、その窓口あるいはカウンターの寸法および床からの高さを記入して下さい。なお、イ~ハに該当しない場合は下のニの欄に略図を画いて所要事項を記入して下さい。

|    |   | open 形式 (ホテルのカウンター形式)…来館者と出札員の間に<br>壁やガラスによるしきりがない形式                                  | は低いカウン         | ターがあるだけで      |  |  |  |  |
|----|---|---|----------------|---------------|--|--|--|--|
|    | 1 |   | 床からカウ          | 床からカウンターまでの高さ |  |  |  |  |
| ы  |   | 章 ( ) cm ( ) cm   | (              | ) cm          |  |  |  |  |
|    | l | Close 形式 (映画館、駅の入場券売場形式)…来館者と出  | <b>札員の間は天井</b> | ‡まで壁によって      |  |  |  |  |
|    |   | しきられ、その一部が窓口( 可動式のガラス窓 )になっている  | 形式             |               |  |  |  |  |
| *  |   | E ///////   | 床から窓口までの高さ     |               |  |  |  |  |
| "  |   | 面 // (  | (              | ) cm          |  |  |  |  |
| l  |   | Semi - open形式(イとロの中間形式)来館者と出札貝  | の間は底い壁         | またはガラスによっ     |  |  |  |  |
|    |   | てしきられ、その一部が窓口(可動式のガラス窓)になってい  | る形式            |               |  |  |  |  |
| łM |   | open  | 床から窓口までの高さ     |               |  |  |  |  |
|    | , | 正<br>ib<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id<br>id | (              | ) cm          |  |  |  |  |
| ĺ  |   | 略図  | 床から窓口          | までの高さ         |  |  |  |  |
|    |   |   | (              | ) cm          |  |  |  |  |

| 回答記号記入欄 | 1 | Р | ^ |  |
|---------|---|---|---|--|
| (理由)    |   |   |   |  |
|         |   |   |   |  |
|         |   |   |   |  |

#### 2. 調査内容

第1表に転載した調査票のとおりである。その概略を 述べると次のようになる。

(問1)外壁をめぐらしている建物と、外壁のない建物. 風除室を有している建物. エントランスホールのある建物等について、それぞれ入館券売場、改札口等の位置関係を調査する.

〔問2〕今後希望する建物構造および入館券売場,受付などの調査

- [問3] 入館券売場の勤務人数
- 〔問4〕入館券売場と事務室との位置関係
- [問 5] 入館券売場と事務室との連絡方法
- [問6] 団体見学者に対する説明場所
- 〔問7〕個人の見学者からの質問に応待する方法
- 〔問8〕案内施設,質問コーナー等の有無
- 〔問9〕待合所,休憩場所の有無
- [問10] 待合所,休憩所の場所,収容人員

〔問11〕入館券売場の構造. オープン形式かクローズ形式かセミオープン形式か.

〔問12〕望ましい入館券売場の構造はどれか.

以上の調査内容の詳細については第1表に示してある.

#### 3. 調査票の回収結果

調査票の回答締切期日は昭和55年6月30日としたが、 実際には期限後も回答用紙が到着したので回収率を上げ 精度を高めるために同年11月1日をもって締切った。そ の結果、回収率73.5%の高率を得ることができた。その 詳細については第2表で示したとおりである。

## Ⅲ 調査結果の分析と考察

## 1. 管理運営に都合のよい構造

#### (a) 外壁に囲まれた建物構造

博物館の周囲に外壁をめぐらしてある博物館は全体の16.2%で年代別にみると昭和50年代では見当たらない。全体的傾向としては、時代が新らしくなるにつれて外壁のない博物館が明らかに多くなっている。また外壁を持っている博物館は国立の館において33.3%と高い割合を占めているのも特徴的である。その傾向は第3図に示してある。また、外壁を有する博物館は、若し新しい博物館を作る場合でも現在と同じ外壁のある博物館を希望している傾向が目立つ。第4図のAをみてもわかるとおり35.5%の多きに達しているのは意外である。たしかに城のような構えは威厳があり、盗難や火災に対しての防禦力に勝るばかりでなく管理者サイドからみれば都合が良いのであろう。我が国では一軒の家でも塀をめぐらす風

## 第2表 調査票の発送数,回答数の内訳と 回収率(%)

(昭和55年度11月1日現在)

## (a) 設立年代別

|        | 明治   | 大正   | 戦前   | 8B4+0204 | B#1304 | 884040 <b>4</b> | 184504 | 合計   |
|--------|------|------|------|----------|--------|-----------------|--------|------|
| 発送数    | 6    | 11   | 24   | 45       | 65     | 87              | 22     | 260  |
| 日答数    | 4    | 6    | 15   | 34       | 51     | 64              | 17     | 191  |
| 回収率(%) | 66.7 | 54.5 | 62.5 | 75.6     | 78.5   | 73.6            | 77.3   | 73.5 |

## (b) 設立者別

|     | 国立   | 公立   | 私立   | 合計   |
|-----|------|------|------|------|
| 発送数 | 12   | 231  | 17   | 260  |
| 回答数 | 10   | 171  | 10   | 191  |
| 回収率 | 83.3 | 74.0 | 58.8 | 73.5 |

#### (c) 館 種 別

|        | 絲合   | 歷史   | 美絎   | 科学   | 動植水  | 合計   |
|--------|------|------|------|------|------|------|
| 発送教    | 46   | 72   | 89   | 50   | 8    | 260  |
| 回答数    | 37   | 54   | 63   | 35   | 2    | 191  |
| 回収率(%) | 80.4 | 75.0 | 70.8 | 70.0 | 66.7 | 73.5 |

#### (d) 地 区 别

|      | 北海道      | Í | 北  | R    | 東  | ş    | 京  | 舅    | 海  |      |
|------|----------|---|----|------|----|------|----|------|----|------|
| 発送   | 16       |   | 25 |      | 24 |      | 33 |      | 29 |      |
| 回沒   | 回答数      |   |    | 21   |    | 20   |    | 22   |    | 21   |
| 回收   | 回收率(%)   |   |    | 84.0 |    | 83.3 |    | 66.7 |    | 72.4 |
| 北信飯  | 火信艇 近畿   |   | 3  | 四月   | đ  | 九州   | 4  | 合言   | †  |      |
| 33   | 33 44    |   | }  | 14   |    | 19   |    | 26   | 0  |      |
| 25   | 25 30    |   | )  | 5    |    | 16   |    | 19   | /  |      |
| 75.8 | 75.8 68. |   | .0 | 35.  | 7  | 84.  | 2  | 73.  | 5  |      |

習がある. 外国の博物館には見られないこの構造は日本の伝統的慣習的建築様式と見ることもできるのであろう.

|                    | <del></del>                  |
|--------------------|------------------------------|
| at 15              | 博物館の建物構造                     |
|                    | A…展示室を含む博物館建物の周囲に外壁を設けてある構造  |
|                    | B…展示室のある建物の出入口に風除室が設けてない構造   |
|                    | C…展示室のある建物の出入LIC風除室が設けてある構造  |
|                    | D…展示室のある建物にエントランスホールが設けてある構造 |
| 3888               | E…上記A~D以外の博物館構造              |
| NAME OF THE PARTY. | 無料の館                         |
|                    | 無回答の館                        |
| <b>******</b>      | その他                          |

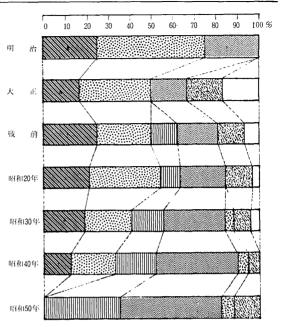
第1図 記号説明 (第3.4.9~13図用)

| 記号 | 入館券売場の構造          |
|----|-------------------|
|    | イ…open 形式         |
|    | 口…close形式         |
|    | ハ… semi – open 形式 |
|    | ニ…上記イ,ロ,ハ以外の形式    |
|    | 机を使用している館         |
|    | 自動販売機             |
|    | 無回答の館             |
|    | その他               |

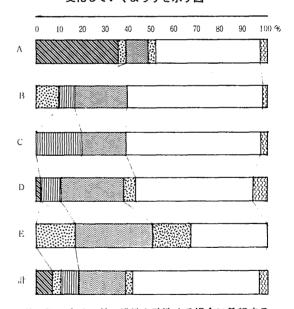
第2図 記号説明 (第5.6.7.8.14図用)

## (b) クローズ形式の入館券売場

入館券売場の構造を歴史的にとらえてみるとオープン 形式が着実に増加しているとはいうものの第5図でも明 らかなように依然としてクローズ形式が優位を占めてい る。この傾向は戦前戦後を通して余り変化がみられない。



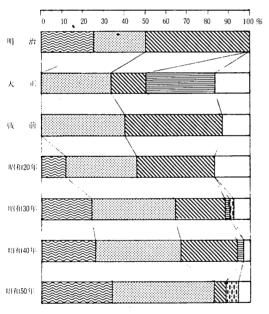
第3図 博物館建築構造が時代とともに 変化していくようすを示す図



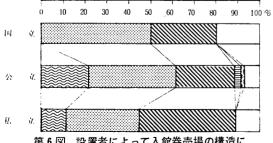
第4図 自分の館の構造を改造する場合に希望する 構造と現在の構造との関係を示す図

また、設置者別で調べてみると国立の博物館にクローズ 形式が最も多く、つざいて公立、私立の順に減少する傾向がみられる。管理体制が厳しいところほど来館者との間の壁が厚くなるのであろうか、興味ある課題である。入館券売場の構造は館の種類とは全く関係のないことは第 7図からも理解できる.一方地域別にみた場合であるが 北海道,東北,北信越等寒冷地においては約50%の館が クローズ形式を採用しているのは冬期の暖房と深い関係 があるのではないだろうか.しかし,近畿地方において クローズ形式が60%と多いのは何を意味しているのか理 解に苦しむ.これらの詳細については第8図に示してある。

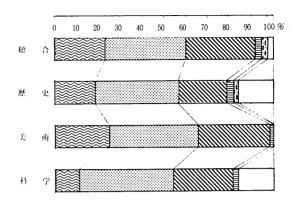
クローズ形式の入館券売場の利点と言えば、そこは金銭を扱う場所であるので防犯の上から考えて、より安全性が高いと言える。また、入館券売場が冷暖房されているような場合には窓口は小さく、ガラス戸等で外気と遮断してある方がよいことになる。しかし、これらは管理者サイドからの論理であって、来館者不在のそしりをまぬがれないであろう。



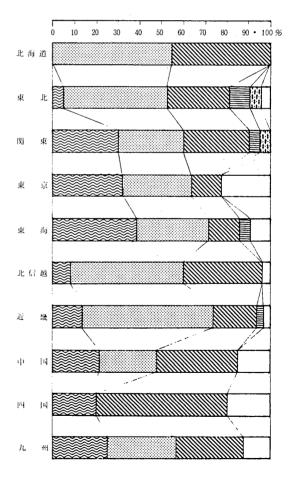
第5図 入館券売場の構造が時代とともに 変化していく様子を示す図



第6図 設置者によって入館券売場の構造に 相違のあることを示す図



第7図 館種と入館券売場の構造との間には 相違のないことを示す図



第8図 地域により入館券売場の構造に 相違のあることを示す図

#### 2. 来館者に親しみ易い構造

## (a) 増加するエントランスホール

エントランスホールは着実に定着しつつあることは、第3図からも理解できる。すなわち、昭和初期には16%の採用率であったものが、昭和50年代では46%の館がエントランスホールを有するに至っている。これを設置者別にみると国立の博物館が11.1%であるのに対して公立博物館は34.1%という高率を示している。このような結果が出た背景には国立館には最近新築された博物館が公立館に対して少ないためであろう。一方、私立の博物館にあってはエントランスホール皆無という結果になった一般的に言って、私立博物館の多くは規模も小さいため、その余裕がないのが実情であろうが、なかには科学技術館のように大型の理想的なエントランスホールを有する館もある。(第9図参照)

エントランスホールの冷暖房効果をあげるためには当然,風除室が必要になってくる。第10図には,きわめて興味ある結果が表現されている。すなわち,風除室およびエントランスホールを設けている博物館を地区別にみると,寒冷地の北海道地区が最も多く81.8%の数値を示している。東北地方が57.1%で第3位である。面白いことに夏期に高温の九州地区が第2位で62.6%になっている。(第10図参照)

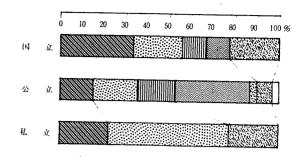
## (b) エントランスホールの利用法

エントランスホールは利用者の自由な空間として位置づけることにより利用度は高められる。そこは休息の場であり、だんらんの場であり、また待合わせの場所としても利用できるであろう。博物館側はできるだけ、この空間は利用者に開放して静かなそしてうるおいのあるムードづくりを心掛けるべきであろう。

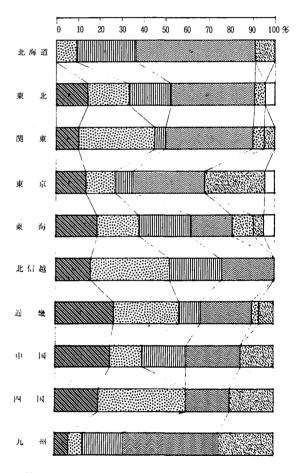
今回のアンケート調査の結果によると、建物の改造を希望すると回答してきた館のうち48.8%の館がエントランスホールを設けることを希望している。希望する理由については不明であるが、利用者サイドに立ったアプローチであることを願っている。この項に関する集計結果については第11図、第12図、第13図および第4図に画かれている。

## (c) オープン形式の入館券売場

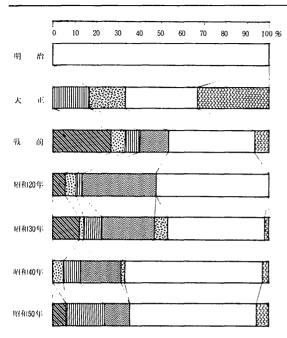
オープン形式の入館券売場は公立の博物館が最も多く約21%,私立館は僅かに10%,さらに国立では皆無という結果に終っている。(第6図参照)このことはクローズ形式と対称的になっている。また館種別の差は判然としないが第7図で示してあるとおり、総合博物館や美術館が歴史や科学系の博物館よりもやや多く採用されてい



第9図 設置者により建物構造に相違のあることを 示す図(記号説明は第1図参照)



第10図 地域により博物館の建物構造に 相違のあることを示す図 (記号説明は第1図参照)



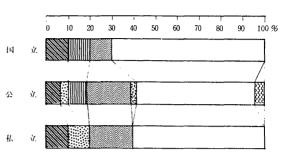
第11図 博物館の建築時代別にみた場合,その館が 今後改造する場合に希望する構造の相違を 示す図 (記号説明は第1図参照)

る. 地区別にみると、寒冷地のためか北海道は皆無であるし、東北地区では4%という低い数値を示しているにすぎない. オープン形式を採用している館を全国的にみると、東海地区が最も多く、次が東京、つづいて関東地区という順位になっている(第8図参照). オープン形式の入館券売場の位置を個別に調査してみると、そのすべてはエントランスホールの中にあることがわかった。それはあたかもホテルのフロントのような環境と雰囲気につつまれている。

たしかにオープン形式の入館券売場は来館者にとって 感じが良く親しみ易い、このことは館職員にしても同じ であろう・分けへだてなく応待できるし、よりきめのこ まかい案内もできるのではないだろうか・入館券売場の 構造を改造したいと希望している館の約半数に当る51.3 %の館がオープン形式の採用を望んでいることが今回の 調査で判明した・

#### 3. 入館券売場と改札口の関係

博物館において、来館者の受入れのための形式には無料扱いの場合を除いて入館料を徴収しているが、その場合、入館券売場と改札口を分けているもの(電車の駅形式)と 改札を特に実施していない館とがある。この場合には入館券が再度使用されないように鋏を入れたり、一部を切り離したり、日付印を入れたりして来館者に渡



第12図 設置者別にみた場合,今後建物改造を 希望する場合の構造別比較図 (記号説明は第1図参照)



第13図 地域別にみた場合,その館が今後改造する 場合に希望する建物構造の比較図 (記号説明は第1図参照)

している場合が多い.入館券売場と改札口を分離している館は大型で入館者数の多い館にみられる.しかし今回の調査結果によると,入館券売場の常時勤務人数1人が57.7%,2人が25.0%,そして3人以上となると5.6%と減少する.入館券売場と改札口を同一場所に設ければ勤務人数は常時1人でも済むので人件費の節約になるであろう.

次に、入館券売場と事務室との関係をみてみると、入館券売場が事務室の一角にあるものが31.6%と最も多く、別の建物になっているもの18.7%、同じ建物の同じ階内にあるが離れているもの17.1%、隣室にあるもの11.4%、同じ建物内の異なる階にあるもの10.4%という具合になっている。また、入館券売場と改札口が同一場所にあり、かつ事務室の一角に設置されている館が38.5%と最も高い数値を示している。

事務室と入館券売場との関係については第14図で示しておいた。そのなかで特筆すべきことは、事務室の一角に入館券売場を設けている館では圧倒的にクローズ形式の窓口形式を採用している。数値でみるとクローズ形式が56.3%、セミオープン形式が39.1%に対してオープン形式の館は皆無に近い状態である。すなわち、事務室の一角が入館券売場になっている場合には、来館者側から事務室内部が見えないようにするためにも、また、事務室内の冷暖房による保温効果をあげるためにも入館券売場の窓を小さくするクローズ形式が採用されるのであるう。このような館は比較的小規模館に多くみられ、日常的事務作業と入館券の発売作業が兼務できる点において人件費の節約になるのであろう。

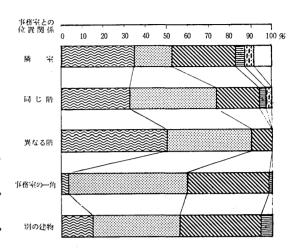
### 4. 正面入口付近の来館者用各種施設

#### (a) インフォーメイション (案内・受付)

博物館の耳であり口であり、かつ、眼である受付・案内係は来館者にとってあたたかい存在であるが現実的にはその発達がおくれているようにみえる・調査結果によると、インフォーメイションデスク(センター)を設けてある館は国立で60%、公立となると一挙に13%に下ってしまう。私立館は20%という普及率を示している。これを館種別にみても、どの館も低調であることには変わりがない。そして約半数の館は入館券売場か改札口で各種の質問に応じていることが解った。

## (b) オリエンテーションルームと質問コーナー

学芸員が常時勤務している質問コーナーを有している 博物館はどのくらいあるのだろうか、今回の調査による と、まず、設置者別にみた場合、国立館が10%、公立館 5.3%、私立館20%という数値で私立の博物館において



第14図 事務室と入館券売場との位置関係によって 入館券売場の形式に相違が出てくることを 示す図 (記号説明は第2図参照)

普及率が高い。館種別にとらえてみると総合博物館が, 5.7%, 美術館 1.7%, 歴史博物館 3.6%, それに科学 系博物館16.2%となっている。全体的に低調ではあるが 感覚的に観賞する美術館と科学的思考や理解が要求され る科学系の博物館との差が歴然とあらわれている. 科学 系博物館におけるこの種の施設が<br />
一層期待されるところ である.また,専用のオリエンテーションルームを設置 している館は僅かに5館(2.4%)にすぎなかった。オ リエンテーションルームを有しない博物館にあっては, 団体見学者等に対しての概要説明はどこで実施している のであろうか、その調査の結果,展示室内と答えた館が 41.0%、講堂とか大会議室が27.4%、それに館の入口附 近か屋外と答えた館が22.6%であった。国立科学博物館 でも昭和55年度に入って始めて地下一階にオリエンテー ションルームを設けたが人手不足のこともあって十分に は機能していないときいている.

#### (c) 博物館内外の休憩施設

博物館の屋外に休憩施設を持っていると答えた館は、回答館 191 館中の約30%であった。屋内に休憩所を有する館は21館(16.2%), エントランスホールで休憩できる設備のある館は32館(16.8%)であった。しかし、このような施設も規模は決して大きくはなく全体の60%が収容人員40人以下というのが実情である。

#### Ⅳ 新しい正面入口附近の構造

筆者らは、今回の調査を実施するに当たり、いくつか の作業結果を想定した仮説をたてたことは既に述べてお いたとおりである。この仮説の中には望みをかけた夢のようなものもあった。たとえば、博物館の受付や入館券売場がホテルのフロントのようになったら、そしてエントランスホールがホテルのロビーのような雰囲気で来館者を迎え入れてくれたら、どんなにか楽しいことであろうと考えた。しかし現実的な存在には多くの期待は寄せていなかったのである。ところが調査してみると、我々が考えていた望ましい構造は現実的に存在していたのである。言いかえれば、作業仮説は適中し、事実をもって解くことに成功したと言える・筆者らはこの調査により数多くのことを学ぶことができた。そこで、新しい博物館の正面入口附近の望ましい構造像をまとめると次のようになるであろう。

### 1. 受付や入館券売場は建物の中に

お客さんは外でふるえながら小さな窓口を通して切符を買うという時代は完全に過去のことになりつつある. 温度調節のされた建物内に入ってから入館券が買えるような構造にしたいものである. 最近オープンした岩手県立博物館は屋外からも入館券が扱える構造になっているが, 現実には使用されておらず, もっぱらエントランスホールの中のオープン型の窓口で入館券を扱っている. 昔あった安い芝居小屋の木戸銭売場のような形式は調査の結果でも古い建物に残存している傾向が目立っている.

## 2. 入館券売場はオープン形式に

入館券売場は現金を扱う関係から, ややもすれば映画 館の切符売場のように小さな窓口が考えられがちである が、これでは来客を喜んで迎える姿勢からは遠のいてし まう. 銀行なども, かつては鉄格子を隔てて金銭の受け 渡しをしていたが, 現在ではその影は消え, オープン形 式になっている. オープン形式はたしかに犯罪や盗難に 対しては弱い欠点を持っている. そのために銀行等では 時折り犯罪が発生するが、だからと言って、再びクロー ズ形式に戻る気配はない。 オープン形式の代表的な例は ホテルのフロントに求めることができる. 博物館でも最 近建築されているものには、この形式を採用している館 が目立って多くなっているのは時代の要請によるもので あろうが、さらに一層、定着されることを望むものであ る. この形式をとるためには、前述したように第一に建 物内部(エントランスホール等)に設けること、そして 第二には冬期の暖房、夏期の冷房等が入館者のためにも 配慮される必要があるだろう.

### 3. 風除室とエントランスホール

すでに多くの博物館で設置されているものに風除室と エントランスホールがある. 一見無駄な空間のようにも みられるが、これらはかなり重要な意味を持っている。 風除室は本来、内部の空気と屋外の空気とを遮断するためのものであるから広い空間をとる必要はないだろうが、 雨天の時に雨傘を一時預ける場所として活用することができる。その場合、入口で預けて、出口で持ち帰れるように工夫する必要があるだろう。

エントランスホールには休憩用の椅子を用意しておく ことが望ましい。また観葉植物の鉢植えなどを配置して 軟かい、みずみずしい雰囲気をつくり出したいものである。 友人と待ち合わせたり、展示室に入る前にパンフレットなどで事前学習をしたり、また見学後に疲れた足を 休めたり等エントランスホールは来館者に対する博物館 のサービスエーリアである。

### 4. 傘立てとロッカールーム

雨天時にぬれた傘を持ち歩くことは本人にとっては邪魔になるし、博物館にとっても好ましいことではない、 傘は時としていたずらの道具にもなりかねないので展示 室内への持ち込みは禁止すべきである・傘をどのように 取り扱うかは館側にとって頭の痛いところであるが、原 則的には何等かの方法で傘立てを用意すべきである・傘 立ては風除室あたりに設備する案は前述したとおりである。

また、手荷物も館内見学には必要がないので入口附近 にロッカールームを設けることが望ましい。岩手県立博 物館ではエントランスホールへの入口にロッカールーム が設置されており、エントランスホールから出入できる うな構造になっている。

## 5. 楽しい博物館売店も

欧米の博物館を訪ねた経験者の集りで話題に花が咲くのはミューゼアム・ショップの思い出である。とにかく楽しい一時を過ごさせてくれるのがお土産売場なのである。一般の市中では手に入らないものばかりであるのが特徴であろう。中味は博物館の出版物で研究報告書から展示ガイドブックまで揃っている。絵はがきやブロンズの模型、ドも自由に選択できる。それに標本類やブロンズの模型、模造品など、ことに入ってくると人々の眼が一段と輝くから不思議である。博物館と同様に人々の収集本能がみがえるところなのである。我が国でも取り入れられつつあるが、まだ規模が小さくガラスケースを1~2台並べている程度のものが多いが売店には必らず一室が与えられるように建物設計に当たり配慮して欲しいものである。位置はエントランスホールに隣接させるべきである。

### 6. 質問コーナーとオリエンテーションルーム

展示の内容や専門分野について質問や問い合わせに応

じる窓口が質問コーナーである。説明パネルで表現できる文字数には制限があるので、すべての見学者を満足させるものではないし、また、説明文を読むことによって新しい疑問も生じてくる。そのような場合に質問コーナーは極めて有効に機能する。パリの発見の宮殿のように学芸員が各展示室に勤務していればそのような施設は必要ないであろうが、我が国の場合には未だ道遠しの感がある。そこでせめてものサービスとしてレファレンスワークを行う質問コーナーを開設すべきであろう。この施設の設置場所はエントランスホール附近が望ましい。

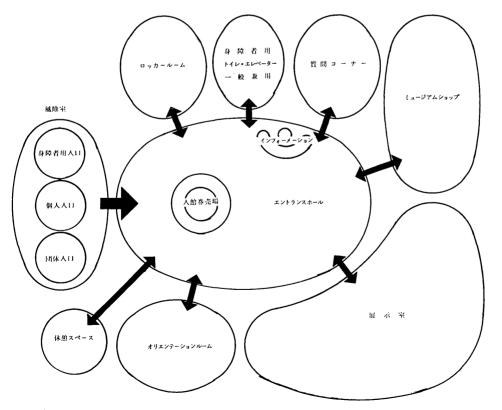
オリエンテーションルーム (事前指導室)の普及はアメリカに於いて最も進んでいるが、最近、我が国の博物館でも次第に関心がたかまっている。多くの場合、講堂と兼用しているようであるが、本来は機能、目的が異なるので小規模でもよいから専用の室を持ちたいものである・収容人員は日本の小中学校の1クラスの人数が入れる程度でよいであろう・講堂との相違は、この室には事前指導用の映写装置(映画、スライド)ばかりでなく、教材(各部門別)や図書等が整備されていることであるオリエンテーションルームは事前指導ばかりでなく、事後の指導用にも活用したいものである。従って位置はエントランスホールに近いところが望ましい。

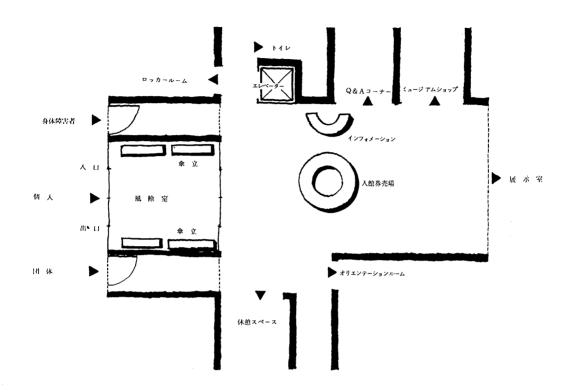
## 7. 博物館出入口の構造(身障者用も)

一般には正面玄関に向かって左側に入口を設け右側から外に出る形式のものが多い。また、団体入館者用として別に入口を設け、個人の入口と区別している館も多い、団体入口からはオリエンテーションルームに通ずるように設計されている場合もある。このような構造の利点は入口附近の混雑を避けることと、団体の希望により事前指導をする場合に便利である。それから身障者用に階段の代りにゆるいスロープの通路を側方に設けることも配慮されるべきであろう。身障者用としては、その他、館内のエレベーターやトイレも特設してある館が目立つようになった。

#### 8. 託児施設のある博物館

荷物を預けるロッカールームについては既に述べたが、若い母親達のために託児施設を入口附近に設けている館もある。 ごく小数ではあるが、博物館が今後学習社会のセンターとして機能するようになるであろうし、その場合には託児施設の要望も強くなるであろう。 この場合、その運営はボランティアの組織に頼るようになるのであろう。今後ぜひ前向きに検討して欲しい課題である。



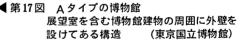


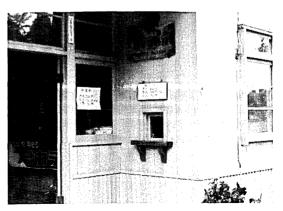
第16図 博物館正面入口付近の望ましい構造図試案

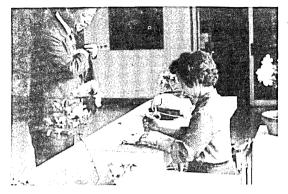


▶ 第18図 クローズ型入館券売場 切符売場の窓口が小さく,入館者との 間が完全に仕切られているもの

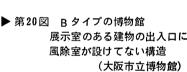
(北海道阿寒和琴博物館)

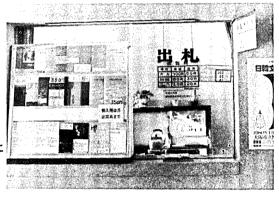


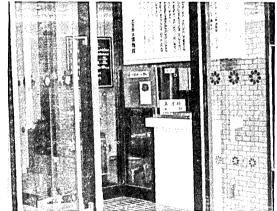




■第19図 オープン型入館券売場 ホテルのフロントのようにデスク以外には 来館者との間に何の仕切りもない (千葉市加曽利貝塚博物館)



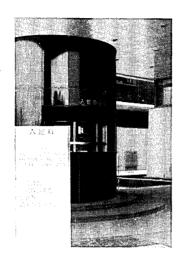




【第21図 Cタイプの博物館 展示室のある建物の出入口に風除室が設けて ある構造 (北海道三笠市立博物館)



▶ 第22図 セミオ―プン型入館券売場



第23図 Dタイプの博物館 展示室のある建物内にエントランスホールが 設けてある構造 (国立民族学博物館)



第24図 自動販売機型入館券売場 (国立科学博物館)